



### インキュベーションセンター入居企業紹介

## 株式会社 プロトンシステム

平成31年1月4日より入居

〒984-0831

宮城県仙台市若林区沖野 6-24-1 103 号室

代表取締役 緑川 勲

TEL : 022-286-6420 FAX : 022-286-6420

E-mail : [hybridkamedon328@i.softbank.jp](mailto:hybridkamedon328@i.softbank.jp)

日本大学工学部キャンパス内

郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター8号室

### － 事業内容 －

電子機器製造業

### － 代表者からの一言 －

再生可能エネルギーの開発の新規性の有る水素生成とアルミニウム一次電池を開発し非常用発電機を製品化することを目指します。



アルミニウム 一次電池の 開発

## 郡山市知財マッチング交流会 報告

### ～川崎市・福島県・郡山市連携事業～

中小企業の新製品等の開発・販売までを支援するために、大手企業の開放特許を紹介する知財交流会を実施しました。

荏原製作所をはじめ5社から、それぞれの知財情報を紹介いただいた後、個別相談会を実施しました。

開放特許については、今回の5社を含め30社の企業にご協力いただいております。「自社の技術が生かせる特許はないか」「ロイヤリティはいくらかかるのか」など、ご興味を持たれた方はお気軽に当機構までご連絡ください。

■日 時：平成31年1月23日 13:00～

■会 場：郡山市労働福祉会館 2F 中ホール

■紹介者：5社

(株) 荏原製作所、富士通セミコンダクター(株)、  
キューピー(株)、富士通(株)、(株) イトーキ

■参加者：95名

■主 催：郡山市、福島県、

(株) クリーク・アンド・リバー社

■共 催：川崎市、(公財) 川崎市産業振興財団、

(公財) 郡山地域テクノポリス推進機構、

(一社) 福島県発明協会



## 日本大学工学部による市民公開シンポジウム 第8回 ロハスの工学シンポジウム 『ロハスの工学のこれまでを振り返り、これからを考える』

### －プログラム内容－

- 基調講演Ⅰ 日本大学工学部 上席研究員 加藤 康司 氏  
「ロハスの技術者育成と地域形成のこれまでとこれから (仮題)」
- 基調講演Ⅱ 医師 菊地 信太郎 氏  
「LOHAS な子どもの成長環境の創造を福島から」
- 話題提供 (ロハスとの関わり)
- 日本大学工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎 氏  
「ロハスの花壇による下水処理のグリーン化」
- 日本大学工学部 建築学科 教授 浦部 智義 氏  
「ロハスと建築」
- 日本大学工学部 機械工学科 准教授 伊藤 耕祐 氏  
「人の暮らしに寄り添う 21 世紀の機械設計」
- 日本大学工学部 電気電子工学科 准教授 村山 嘉延 氏  
「ロハス工学が電力と情報通信のネットワークに継ぎ足すもの」
- 日本大学工学部 情報工学科 教授 若林 裕之 氏  
「IoT や AI を活用するビッグデータ時代のロハス社会」
- 日本大学工学部 土木工学科 教授 中野 和典 氏  
「自然の摂理に逆らわないロハスの農林水産」
- パネルディスカッション  
「工・農・医の連携と産学官民の共同によるロハス工学」  
コーディネーター：岩城 一郎 氏 (前掲)  
パネリスト：中野 和典 氏 (前掲)、浦部 智義 氏 (前掲)、  
伊藤 耕祐 氏 (前掲)、菊地 信太郎 氏 (前掲)、  
菅野 健太 (日本大学工学部大学院性代表：日本大学工学部博士前期課程)

■日 時：平成31年2月23日(土) 13:00～17:00

■場 所：日本大学工学部 50 周年記念館 3 階大講堂

■主 催：日本大学工学部工学研究所

■後 援：郡山市、(公財) 郡山地域テクノポリス推進機構、  
(株) 東邦銀行、福島民報社、福島民友新聞社、  
日本大学工学部校友会

# ～ものづくりインキュベーションセンター～

会議室・試作センターをぜひご利用ください!!

当センターは、“ものづくり”による新たな産業の創出を促進するための支援施設で、企業支援室[11室]のほか、研究開発による試作品を製作するための工作機械を備えた「試作センター」や40人収容可能な「会議室」を設置しています。



## \*\*\*会議室\*\*\*

全面…78㎡・24席  
半面…39㎡・12席  
最大…40名(スクール形式)  
までご利用できます。



## \*\*\*試作センター\*\*\*

全面…195㎡  
♪測定器具・電動工具  
手作業工具等備えて  
あります。



## \*\*\*展示コーナー\*\*\*

♪センター内の「展示コーナー」に  
入居企業の研究成果品  
を展示してありますの  
で、ぜひご覧ください。

# 須賀川市民交流センター tette 開館



先月11日にオープンしました須賀川市民交流センターtette(てって)を紹介します。

3日間のオープニングセレモニー・フェスティバルでは、市内外から一万人を超える多くの来館者があり大いに賑わいました。

tetteは、須賀川市が、震災により甚大な被害を受けた市街地中心部の再生、活性化の中核施設として、また市民文化復興のシンボルとして整備を進めてきた施設で、図書館や貸室などの生涯学習機能をはじめ、屋内遊び場などの子育て支援機能、市民活動サポートセンターなどの市民活動支援機能などを有する複合拠点施設です。様々な世代、立場、目的を持った人々が集い、交流し、活動する市民の新たな公共空間として、末永く愛される施設づくりを目指しています。

tetteは、皆様のご来場を心よりお待ちしておりますので、ぜひtetteにお越しください。



4F 吹き抜け

## ◆シニアアドバイザー紹介◆

当機構が推進する医療福祉機器産業支援への助言をいただくため、昨年より日本全薬工業(株) 研究開発本部顧問の門脇修一郎氏をシニアアドバイザーに委嘱しましたので紹介します。

職名：シニアアドバイザー  
氏名：門脇 修一郎 (かどわき しゅういちろう)  
日本全薬工業株式会社 研究開発本部 顧問  
薬学博士 薬剤師・漢方薬剤師  
E-mail: [techno@nm.net6.or.jp](mailto:techno@nm.net6.or.jp) (テクノポリス代表)  
E-mail: [kadowaki-shuichiro@zenoqa.jp](mailto:kadowaki-shuichiro@zenoqa.jp)

専門分野：薬学、バイオテクノロジー  
プロフィール：総合化学会社に入社後、主に医薬品の研究開発に従事。  
現在は動物薬メーカーで動物薬の研究開発を支援。



## 今月のコラム (シニアアドバイザー 門脇)

日本全薬の門脇修一郎です。テクノポリスのシニアアドバイザーを務めております。担当はバイオ・ヘルスケア関係で、医薬・医療機器を中心とした産学連携・産産連携のお手伝いをさせていただきます。今日から始まるコラムではまず医療機器を取り上げましょう。

医療機器に関する最近のキーワードの一つはウェアラブルです。最新のアップルウォッチでは心拍数、消費カロリー、睡眠チェック等に加えて心電図も測れるようになりました。血圧、血糖値測定も鋭意検討中と聞きます。健康の自己管理が進みます。肌着タイプの測定機器の開発も進行中です。「こういうのが欲しい」という、良い意味での使用者の「わがまま」が心地よいウェアラブル機器の開発に繋がります。是非たくさんの方の声をテクノポリスにお寄せ下さい。テクノポリスが県内に広がる医療機器開発の技術を繋ぎます。

ウェアラブルと並ぶキーワードは無痛・非侵襲です。次はこの話をする事にしましょう。

